

一つの共同体を目指して

皆様、遅くなりましたが、ご復活おめでとうございます。この復活節には主にキリストが弟子たちに現れたことをはじめ、イエス様の奇跡の福音箇所を聞くことが多いです。つまり、復活したイエス様との出会いは遠い昔の弟子たちだけの話ではなく、日々の私たちの生活においても復活したイエス様と出会えることを意味しているのです。この復活節に日々の生活の中でも、復活したイエス様との出会いに気づき、そこから勇気づけられ、希望と喜びを持って信仰生活を歩み続けることができますように。

4月から南山教会に主任司祭として着任しましたビジュ キシャケールと申します。ビジュ神父と呼んでいただけでは嬉しいです。南山教会は私が2002年3月16日に叙階の恵みを受けた教会であり、25周年をこちらで迎えることに大きな喜びを感じています。長崎大司教区の西町教会、付属の南山小学校、幼稚園、名古屋教区の長浦教会と付属の長浦聖母幼稚園、新潟教区の秋田市内土崎教会と土崎カトリック子ども園、秋田カトリック学園、東京大司教区の吉祥寺教会などを経て、教会での司牧、また教育現場で信徒や、子どもと信者ではない多くの方々に関わる恵みをいただき、神言会の日本の主などところでの司牧に携わってきました。南山教会でも皆様とともに歩み、皆様が培ってこられた信仰を深めながら、ご家族のほか一人でも多くの人が神様と出会い、お互いに親睦を深め、教会共同体の一員として、分け隔てなく、信仰生活を生きることができるよう、皆様からご協力をいただければと思います。

教会では5月から一つの共同体で一つのメッセージを味わうことを目的として主日に一人の司祭が説教を担当することを司祭団で決定いたしました。これによって、皆様はどのミサに参加しても同じ司祭のメッセージを聞くことができ、1か月の間、すべての司祭と関わる機会となることを望んでいます。また、大きな共同体であります、一つの共同体という枠組みの中で、お互いに知り合う教会共同体を中心にミサ、行事などを行いながら。皆様と共に歩んでいきたいと思えます。よろしく願います。



平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
日曜日 午前8時・10時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

司祭団メンバー

今年は南山教会の司牧担当として主任のほか助任2名（ドニー神父、ウィルフリード神父）が主に司牧に関わり、ます共住司祭として伴神父に必要に応じて司牧の協力を求めることもありすが、基本的に、主任と助任で担当します。トラン助祭は9月半ばまで南山教会に滞在しながら司牧体験と司祭叙階に向けて準備していきまですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。英語ミサに関しては、他の神言会の司祭に依頼していくことにします。



私の名前はアンソニー・トラン・ハンと申します。2025年3月9日に神言修道会で終生誓願を立て、同年3月15日には、ミカエル松浦悟郎司教様の司式により助祭叙階の恵みをいただきました。これからの6か月間、南山教会で司牧実習をさせていただきます機会をいただきますこと、管区長様、主任司祭様、担当神父様方、そして温かく迎えてくださった共同体の皆様、に、心より感謝申し上げます。最初は不安もありましたが、南山教会の皆様の優しさと励ましが、大きな支えとなりました。

私はベトナムのタイン・スアン教会で育ち、2014年に神言修道会に入会し、2017年に初誓願を立てました。その後、ESPプログラ姆を通じて日本の管区に派遣され、2025年3月には在名古屋南山大学教皇庁認可神学部で哲学と神学の課程を修了いたしました。

この実習期間中、皆様のご指導とお祈りを通して、より良い奉仕者として成長できるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

神様の祝福が皆様の上に豊かにありますように。

神のいつくしみの9日間のノヴェナ最終日 4月26日(土)

伊澤美由紀

14時から神のいつくしみの講話が行われ。パウロ神父様から「神のいつくしみ」とは無条件の愛、神の絆を表す言葉で、この表現はSr.

ファウスティナが伝えただけでなく、昔から聖書の中に記憶されている「神のいつくしみ」であり、イスラエルの民が詩編136編(以下抜粋)の中で祈っていたと紹介された。『恵み深い主に感謝せよ。慈しみはとこしえに。神の中の神に感謝せよ。慈しみは永久に。ただひとり驚くべき大きな御業を行う方に感謝せよ。慈しみはとこしえに。英知をもって天を造った方に感謝せよ。慈しみはとこしえに。力強い手と腕を伸ばして導き出した方に感謝せよ。慈しみはとこしえに。』。その後テーマ「神のいつくしみの神秘を知ろう」の話が続き、神秘はノヴェナの各々の日のメッセージとなっていると教えてくださった。神様の愛は無条件、神様の子どもとしてこれを証することが出来ると力付けてくださった。第二部ではパウロ神父様が聖体顕示台を持ち会衆席を、一人一人

ご聖体によって祝福くださった。許しの秘跡にあずかる機会も設けてくださった。充実したノヴェナ最終日であった。大事なことはそつと語りかけられる、自分が気づかないだけかもしれないと痛感した。その恵みにも感謝。神のいづくしみはとこしえに。神に感謝。

巡礼記（3月）

大川 隆

○京都教区 京都カテドラル河原町教会 聖フランシスコ・ザビエル大聖堂（3月12日）



京都の繁華街三条河原町にある河原町教会は、聖フラン

シスコ・ザビエルに捧げられた教会です。



屋根の曲線は日本古来の神社方式を取り入れたもので、祭壇正面および側面には素敵なステンドグラスがあります。司教座には「皆が一つになるように」という司教のモットーがラテン語で掲げられていました。教区事務所でお尋ねしたところ、京都教区では他の教区のような巡礼手

帳は作成していないとのことでした。また、初代河原町教会聖堂は老朽化のため解体され、現在は博物館明治村で聖ザビエル天主堂として保存展示されています。（河原町教会しおりより一部抜粋）
○大阪高松大司教区 高槻教会（3月12日）

高槻市は、戦国武将キリシタン大名 高山右近の活躍の地です。この教会の聖堂は、高山右近記念聖堂として知られており、ドーム状の屋根が特徴です。祭壇正面右側にはユスト高山右近、左側には日本二十六聖人殉教の碑が掲げられています。厳しい弾圧・迫害を受けた殉教者を想い祈りを捧げました。





受洗おめでとうございます

使徒ヨハネ 渡辺 弘幸

ソフィア 渡辺 啓子

マルタ 久野 恵子

ヨゼフィーナ・バキタ

田島 ゆき

ジュリアーノ 古畑 佑季

マグダレナ・ソフィア・バラ

古畑 春香

マリア 古畑 香与子

洗礼を受けた感想

使徒ヨハネ 渡辺弘幸
ソフィア 渡辺啓子

神戸ご夫妻に代父母となつていただき、夫婦で無事に洗礼を受けることができました。

入信のきっかけは、史上最高のサッカー選手であるアルゼンチンのリオネル・メッシです。

メッシは2005年にスペインのバルセロナでデビューし、一躍サッカー界のスーパースターになりました。

デビュー当初から「神の子」と言われた飛び抜けたテクニクに魅了され、以後二十年メッシに対する愛は強まるばかりです。メッシは、敬虔なカトリック教徒で、ゴールを決めた時に

は必ず十字を切り、天に指差し神様と亡きおばあちゃんに感謝します。その感動的な瞬間を何百回も見てきました。生ける伝説となつても謙虚で常に神様の祝福に感謝し、また神様と会話しているように感じます。その姿を見て導かれるように夫婦でカトリック教徒になることを望みました。

ご逝去された教皇フランシスコがメッシに面会された時の記念の写真を添付してご挨拶とさせていただきます。



洗礼感想文

ヨゼフィーナ・バキア

田島ゆき

一年ちよつと勉強会に参加し、今年の復活徹夜祭で洗礼を授かりました。

特に今年の一月までは学業などで忙しく、なかなか行けないという状況の中で、無事に終わってホッとしています。

きっかけとしては、南山大学構内のロゴスセンターで行われているロゴス・アルファに参加する中で、神様のそばにいたいなど感じた事です。

親と揉めたことありました。が、どこかで理解する気がないことに気付き諦めがつきました。自分の決断に後悔はありませんが、それでも親の態度が少しでも違えば今の状況が少し違ったのかなと考えてたこともあります。

洗礼を受けて少し心が軽くなったように感じます。そして、手紙や花束等色々いただきありがとうございます。今後よろしくお願いいたします

ジュリアーノ 古畑 佑季
マグダレナソフィア・バラ

古畑 春香

マリア

古畑 香与子

私たち家族は復活徹夜祭にてパウロ神父様より洗礼を授かりました。

家族全員でご受洗のお恵みにあずかれましたことを神に感謝いたします。

私たちは若い頃、キリストに真面目についていく友人たちと出会いました。彼らとの魅力的な友情関係を通して、私たちもキリストに基づいて生きることが希望するようになったのが、受洗のきっかけです。昨年5月から始まった入門講座においては、学びの多い時間を過ごさせていただきました。共同体、祈り、聖書、教会の伝統、秘跡について体系的に勉強し、私たちがこれから証していくもの

はつきりと見えるようになりました。これからは家庭がキリストの平和で満たされるよう祈り求めながら信仰生活を送りたいと思います。

今までご指導くださったパウロ神父様、洗礼式を見守ってくださった皆様、これまで支えて

くださったすべての方々に感謝いたします。

ワンポイントひらめき

秋元恭子

今回は私の人生の中での大きな神様の導きの一つの証しを、南山教会共同体の一員として分かち合います。カトリックの短期大学を卒業し、名古屋に戻り、所属教会に行ったとき、

「南山教会職員募集」という大きなポスターが掲示されてあるのが目に留まり、就職先を決めずに名古屋に戻って来た私は、すぐに面接に行き、そこに就職することになりました。約二年勤務し、教会の方と結婚が決まり、退職しました。そして、40代前半に夫を病気で亡くし、未

亡人となった私は、収入を得るために働かなければならなくなりましたので、資格や能力のない私ですが、自分に合った仕事を神様に願い求めて、祈っていました。何ヶ月かしてある日のこと、教会の主任神父様から電

話をいただき、話したいことがあるので、明日来てくれますか？と言われました。電話を切った後、もしや南山教会の仕

事のことか」と涙が止まりませんでした。それは、神様は私を唯一そこでしか働いたことのない場所に再び招いてくださったのか！と感じたからでした。神様のお計らいの憐れみ深さに感動したのでした。その通りでした。

それから定年退職まで、働くことができました。神様はこのように私の人生を導いてくださいました。わたしの人生はすべて神様に委ねています。神様は何があっても弱くても乏しくてもいつも私の味方であり、すべての必要を満たしてくださっています。その後は、同じく神様の導きとお計らいにより再婚し、その夫のために人生を捧げています。主に栄光！

「主は羊飼い、わたしには何も欠けるものがない。死の陰の谷を行くときもわたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭あなたの杖それがわたしを力づける。命のある限り恵みと慈しみにわたしは帰り生涯、そこにとどまるであろう。」

まだ、わたしたちの耳には、ローマを祝福した教皇フランシスコのか細い、しかし常に勇敢な声が響いています。あの復活祭の朝、教皇フランシスコはローマを祝福し、そして全世界に祝福をおくりました。その同じ祝福をわたしも後で皆さんにおくることをおゆるください。

神はわたしたちを愛されます。神はすべての皆さんを愛しています。そして、悪が勝利することはないでしょう。

わたしたちは皆、神の御手の中にあります。ですから、恐れずに、互いに手を取り合い、神と、またわたしたちの間で一致し、前へ進んでまいりましょう。

わたしたちはキリストの弟子です。キリストがわたしたちに先立って歩んでくださいます。世界にはキリストの光が必要です。人類は、神と神の愛に到達するための橋として、キリストを必要としています。皆さんもどうか手を貸してください。対話をもって、出会いを通して、互いに橋を架けましょう。皆が一致して、いつも平和な、ただ一つの民となりましょう。

教皇フランシスコ、ありがとうございます。

また、兄弟であるすべての枢機卿の皆さんに感謝します。枢機卿の皆さんはわたしをペトロの後継者として選んでくださいました。それは、一致した教会として皆さんと共に歩み、常に平和と正義を求め、イエス・キリストに忠実な者として働き、宣教者として恐れることなく福音を告げるためでした。

わたしは、聖アウグスティヌスの子、聖アウグスチノ修道会会員です。アウグスティヌスは言いました。「皆さんと共にわたしはキリスト者であり、皆さんのためにわたしは司教です」と。こうした意味で、わたしたちは神が準備してくださった祖国に向けて、皆で一緒に歩んでいくことができるでしょう。

ローマの教会に特別な挨拶をおくります。わたしたちは、宣教的な教会、橋を架け、対話を築き、この広場のように常に腕を広げて、わたしたちの慈愛と寄り添い、対話と愛を必要とするすべての人を受け入れる教会となれるよう、共に努力しなくてはなりません。

(ここまでイタリア語、以下はスペイン語で)

できれば、わたしの愛するペルーのチクラヨ教区のすべての人に、特別な挨拶をおくることをおゆるしてください。そこでは誠実な民が彼らの司教に寄り添い、信仰を分かち合い、イエス・キリストに忠実な教会であり続けるために、非常に多くを捧げました。

(ここから再びイタリア語で)

ローマとイタリア、全世界の兄弟姉妹の皆さん、わたしたちはシノドス的な教会、歩む教会、平和を常に求める教会、特に苦しむ人々にいつも寄り添う教会でありたいと思っています。

今日はポンペイの聖母への嘆願の日です。わたしたちの母マリアは、いつもわたしたちと歩まれ、そばにおられ、その取り成しと愛をもってわたしたちを助けたいとお望みです。

ここで皆さんと一緒に祈りたいと思います。この新しい使命のために、全教会のために、世界の平和のために祈りましょう。そして、この特別な恵みをわ

第267代ローマ教皇、レオ14世



5月8日（木）午後6時9分（日本時間9日午前1時9分）、システィーナ礼拝堂の煙突から教皇選出を告げる白い煙が上がり、サンピエトロ大聖堂の鐘が鳴らされました。

コンクラーベ開始2日目、午後の1回目（最初から数えて4回目）の投票による選出でした。午後7時13分（日本時間9日午前2時13分）、サンピエトロ大聖堂バルコニーに助祭枢機卿のドミニク・マンベルティ枢機卿が現れ、新教皇選出を告げました。

Annuntio vobis gaudium magnum: habemus Papam!

「皆さんに大きな喜びをお伝えします。わたしたちは教皇をいただきました。」

続いて、ローマと世界に向けて、新しく教皇に選ばれた枢機卿の名前と、その教皇名が告げられた。その後、午前7時23分（日本時間9日午前2時23分）ロバート・フランシス・プレヴォスト枢機卿（初の北米大陸出身の教皇）が現れました。新教皇はレオ14世（Leo XIV）を名乗りました。

新教皇レオ14世（ロバート・フランシス・プレヴォスト）は、教皇庁司教省前長官、1955年9月14日生まれ、米国出身、聖アウグスチノ修道会会員。

～教皇レオ14世の選出直後のメッセージは以下のとおり～

あなたがたに平和があるように。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、この言葉は、復活されたキリストの最初の挨拶です。キリストは、善き羊飼いとて、神の羊の群れにいのちを捧げました。

わたしもまた、この平和の挨拶が皆さんの心に入り、皆さんの家庭や、あらゆる人に、あらゆる場所の、すべての民、すべての地に届くことを願います。皆さんに平和がありますように。

これは復活されたキリストの平和です。それは武装しない平和、静かで、謙遜な、忍耐強い平和です。それは神から来るものです。神はわたしたち皆を無条件

「レクトールとアコリユートス」
のお話

典礼委員長 新内飛鳥

主のご復活おめでとうございます。

過去に2度扱いましたが、朗読奉仕者(レクトール)と祭壇奉仕者(アコリユートス)のことを書きます。朗読奉仕者は典礼総則によれば、ミサは『ことばの典礼と感謝の典礼』によって構成され、この二つは互いに緊密に結ばれている(総則8)。そして、『聖書が教会で朗読されるときは、神ご自身がその民に語られ、キリストは、ご自身のことばのうちに現存して福音を告げられる。したがって、神のことばの朗読は典礼のもっとも重要な要素であり、一同は尊敬をもってこれを聞かなければならない。』(総則9)と書かれています。また、『神はそのことばを伝えるとき、つねに答えを待っておられる。典礼行為において聞くことが、生活において生かされるようになる。』(緒言6)とも書かれています。『ミサの中で聖書朗読や聖書からの歌が、欠けたり少なくされてはならない。まして、聖書以外の朗読と置き換えられたりすることは許されない。』

(総則12)とはつきり書かれています。このように大事な朗読の奉仕に預かることは、典礼の中の重要な役割を担うことになります。

そのため、本来、教会から選任を受けた者が奉仕するのが望ましいのです。現実的には小教区で奉仕をしている多くの人はそうではありません。同じ様によく準備をし、良い朗読を奉仕できるのであれば違いがないようにも見えますが、本質的に違うのだということを知っておいていただくと良いでしょう。あくまで理解しやすいようにということに主眼を置いて諭えますが、調理師免許を持ったコックさんがレストランで作る料理と調理師免許は持たないけれど家庭で料理を作るお母さん? 同じように美味しいと言われる料理ですが違いますよね。それでは良い朗読とはどのようなものでしょうか? まず、聞き取れる声で、はつきりと読む。信者が神の言葉を聞いて、聖書の快い生き生きとした感銘を心に受けるように読む。……と総則と緒言に書かれていますので、これを参考に準備をしていただと良いでしょう。南山教会の朗読奉仕者は、主日のミサでの朗読奉仕および聖週間の特別な典礼での朗読奉仕に貢献します。そして、必要な場合に進行係

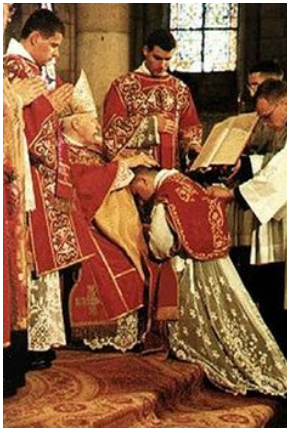
を補佐します。手引きなどを通じて所作や動作をお伝えしています。が、それらは「絶対にそうだから譲れない」と言うものではありません。ここに書いてあるからこうするのだと固執することの無いように実際にはミサの捧げられる場、ともに奉仕する人たちとの空気あるいは呼吸を大切にしてください。

祭壇奉仕者と言うのは小教区で信徒の間ではなかなか耳馴染のない言葉ですが司祭とは少し違う立場で祭壇に奉仕する人のことです。侍者に似ていますが「侍者のようなもの」と言うとう理解はしやすいのですが、実は全く同じではなく助祭と侍者の間と言う感じでしょう。古くは「侍祭」と呼ばれ、5世紀頃の記録によれば、ろうそくの火を灯し、ぶどう酒や水の準備をし、教皇が聖別したホスチアを他の教会に運ぶ役割をもっていました。トリエント公会議(16世紀)で「侍祭」は、司祭候補者だけに限られました。しかしミサを捧げるためには最低一人、司祭の祈りに応答する者が必要だとされたことから、「侍祭」がいな場合は、「侍者」あるいは「ミサ応え」と呼ばれる少年が奉仕するようにしました。このことが侍者は子供の役目というイメージ

につながっていると思います。聖職位階の上位として司教、司祭、助祭、さらに下位として侍祭、祓魔師、読師、守門の合わせて7つの位階が中世より存在しましたが、やがて第二バチカン公会議の典礼刷新を受けて、教皇パウロ六世は、司祭候補者だけに限られていた「侍祭」を廃止しました。現在は、信徒が担うことのできる奉仕として「祭壇奉仕」「聖体奉仕」として整理されています。

この観点で捉えると冒頭の朗読奉仕者の源流は、やはり廃止された位階の「読師」にあたります。朗読奉仕者も祭壇奉仕者も司祭候補者(終身助祭候補者を含む)がそれを受ける場合は荘厳に「選任式」が行われます。小教区では割合とシンプルに「じゃ8時のメンバーでお願いします。」と言った声掛けで「登録」されますが、元来は教区で養成を受け能力を認められた上で「選任」され「派遣」されるという手続きが存在していました。(あ、名古屋教区ではというこではないですよ。教会全体のお話としてです。)朗読奉仕はキリストに代わって神の言葉を伝えるという重要な役割だからです。しかしながら同時に「読むと言う奉仕」をささげる側面があります。南山教会に限らず「読み手

の確保」ということも必要に迫られることがありますから、時代の背景もあります。南山教会は後者の道を選びとったということです。美しい声で上手に伝えられるに越したことは無いのですが誰もが同じようにはできません。むしろ出来ないからこそ聖霊が私たちの欠けたところを補ってくれるのです。その奉仕がより恵みに満ちたものになるということです。モチベーションと「はげみ」を考えると南山教会でも「選任式」的な儀式があるという長年思っています。主任司祭とよく相談して整備して行けたらと思います。



者の奉仕に関することで大人の信徒の皆さんにお願いがあります。聖週間やクリスマスなど日没後の典礼に奉仕することがあります。小さな子供の中には疲れてしまつてうとうとする子もいます。どうかおらかな目で見守つてい

ただければと思います。中には「可哀想だから」と声を伝えて下さる人もいますが、失敗も含めて何事もその経験を通じて成長することがあるのだと思います。また、眠ってしまった仲間をどうにか起こそうと懸命に力を注ぐ子もいます。こういったことも将来の絆が育まれる機会です。「きちんとした姿」をいつもお見せできることは望ましいことですが、そうならないこともあります。どうか、イエス様の温かいまなざしに見習って見守っていただけると幸いです。

とは言え、なるべく避けたいことでもあります。小さな侍者を日没後の典礼にお連れになる親御さんは、お昼間の内に昼寝を促すなど体と心を休ませるように工夫をお願いします。

“ごミサ”についての

ワンポイント

川原 稔

●ごミサとは何か？

私たちは、誰かを心から愛しているとき、その人と一緒にいたいと願いますよね。同じように、神を愛する私たちも、神のそばにいたいと願うものです。そんな神との深い出会いの場こそが「ごミサ」です。ごミサはただの宗教儀

式や日頃の習慣ではありません。そこは、神と人が出会い、天と地がつながる、特別な恵みの場所なのです。

■ごミサは「愛の現存」

ーキリストが今ここに

ミサの中では、パンとぶどう酒が、キリストの「まことの御体と御血」となります。これは象徴ではなく、実際にイエス・キリストがその場に現存しておられるという教会の信仰です。ヨハネ福音書6章54節でイエスは「わたしの肉を食べ、血を飲む者は永遠の命を得る」と言われました。ごミサに与ることで、私たちはキリストと深く結ばれるのです。

■ごミサは「救いのいけにえ」

ー十字架が今ここに

ごミサは、かつて十字架の上で捧げられたキリストのいけにえを、神秘的に今この場所に現すものです。キリストは再び死ぬのではありませんが、その愛の行為が今も続いているのです。カトリック教理書は「聖体のいけにえと十字架のいけにえはひとつである」と教えています。私たちも、ごミサで自分の苦しみや喜びをキリストのいけにえと一つにして神に捧げることが出来ます。

■ごミサは「教会の一致」

ー一人ではない信仰

ごミサは私たち一人一人のものではなく、教会全体の祈りです。教皇、司教、司祭、そしてすべての信者と心を合わせて祈ります。また、天の聖人たちが煉獄の靈魂たちとも一致しており、まさに「神の家族」がひとつになる時でもあります。

■ごミサは「義務であり特権」

ー参加する意味

日曜日のごミサへの参加は、教会法により義務づけられています。それは単なる義務ではなく、大きな恵みでもあります。神と出会い、心を癒される場であり、霊的な力を受け取る瞬間です。ミサは、私たちの魂の宝物であり、生きる力の源です。

■ごミサから生きる信仰へ

ごミサは教会の中で終わるのではなく、そこから私たちの信仰生活が始まります。神を心にいただいた私たちは、この世界へと遣わされます。愛し、仕え、赦し合う生き方を通して、日常の中で神をあらわすのです。たとえ目立たなくても、神とともに生きる人の人生には意味と力があります。ミサを愛する人は、神に近い人。そして神に近い人は、いつも喜びと希望に満ちているのです。

第2回小教区宣教司牧評議会

司祭団より

5月4日

新主任ビジュ師の自己紹介。
ドニ―師は帰国休暇を取る予定。

報告・連絡事項

1. 5・6月予定確認(信徒代表)

各月第2週に教会周辺清掃。

5月11日75周年記念誌編集委員会、5月18日ヨセフ会班長会、5月25日バザー実行委員会、6月6日(金)マリア会例会、6月8日教会美化、6月15日ヨセフ会全体集会、6月22日初聖体・バザー実行委員会、6月29日信者全体集会。

典礼委員会、6月7日予定を5月31日に変更します。

2. 今年度小教区宣教司牧評議会のメンバーについて(信徒代表)

4月の修正を加えた名簿が配付された。不備等がありましたらメールにてご連絡ください。

3. 2024年度決算報告(財務委員会)

配布資料に基づいて財務委員長より説明がされました。収入

は約三九、二三三千元、支出は約三一、五三三千元で消費収支差額は約七、六九九千元となりました。更に納骨壇の新設が約七、一七二千元ありました。

で、最終的な収支差額は約五二七千円の黒字となりました。全体的に予算内に収まっており、各会で節約していただき、修繕も幸いに大きな工事などが発生しませんでした。公

認会計士の監査も滞りなく終了しました。尚、会場献金について、南山教会が公認していない団体、南山教会所属以外の方が使用する場合、献金を頂いている、例えばレジオマリエの場合、南山教会のグループの集会では献金の必要はありませんが、レジオマリエ名古屋クリアが会場を使用する場合、南山教会の所属信者が含まれていても献金を頂いています。今後は、このルールを明確にするために、南山教会で公認されていない団体や所属以外の方に対しては、使用申し込み用紙に担当責任司祭名と献金予定額を記載して頂くことを、この評議会にて改めて確認しました。

4. ヨセフ会班長会(ヨセフ会)

5月18日(日)10時ミサ後マリ館1階集会室にて開催予定。
5. インターナショナルミサについて(信徒代表)

これまで南山教会で行われることが多かったインターナショナルミサが各教会持ち回りとなり、今年度は城北橋教会で5月11日(日)14時から開催される。

確認

9月1日(月)・11日(木)巡礼旅行(シユタイル・バチカン・アシジ等)(小池さんが実行委員長として動いてくださっている)、11月8日(土)パイプオルガンコンサート(オルガン管理委員会の水谷さんにポスター作成と当日のチラシまたはブログラムの作成をお願いしたい)、12月20日(土)記念ミサ(司教様、歴代主任司祭、助任司祭)

(典礼委員長の新内さんにポスター作成と当日に向けた細部の調整をお願いしたい)・記念誌発行(松浦が編集委員長)。

中村様が旅行の段取りをしてきています。中村様よりビジュ司祭にご伝言で吉祥寺教会の信者の方にも参加のお声がけをしていただきたい。

その他の教会の方々にもご案内をしていきます(チラシ等は配布済)。受付を4月30日から5月31日までに延期します。申込金が6万円で残金の支払いは7月です。

もっと早く広く周知したほうが良かったという意見も出されました。

7. 75周年記念巡礼旅行申込受付期間の延長について(信徒代表)

現在、最低催行人数が集まっていない状態。教区への周知や他地区での募集を含め、期間を延長して対応する。

審議・相談事項

1. マリア祭について(典礼委員会・ヨセフ会)

5月11日9時45分からルルド前で祈りを捧げる。その後聖母行列。

ヨセフ会がルルド付近の駐車禁止を担当する。その際、ルルドの見栄えが悪くなるためコーンバーは使用しない。8時ミサのお知らせで、「マリア祭に参加されない方は、この後速やかに移動してください。」とのアナウンスをする。

電源の都合により、聖歌隊は

小聖堂側で歌唱する。

天候により段取りが変更になる可能性があります。

例年どおり行う予定です。

音響の準備は森さんが行います。

聖歌隊より、キーボードの事前チェックを森さんが行うと聞いている。内部オルガニストとの連携の為に外の音響の中にも流していただいている。

2. 教会美化について（信徒代表）

6月8日（日）に行う。6月中旬以降は梅雨入りしていて、天気がすぐれない可能性が高い、また、気温が上がって熱中症の心配もある。清掃区域の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定鉢は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。ご復活でBBQを行ったばかりなので、今回はBBQを行わない。伸びすぎる前に剪定するのが大事。伸びる前に剪定して綺麗な状態を維持したい。信徒と司祭団で行いきれなければ、業者に依頼することも検討する。営繕委員会で剪定チームも組んでいる。

次回、書面でも美化の計画について説明をします。

3. 信者全体集会について（信徒代表）

6月29日10時のミサ後にマリア館ホールで行う。例年の活動報告ではなく、75周年記念誌用の原稿作成をお願いする。できるだけ簡素に会の現状を知らせる内容とし、できれば雰囲気に分かる写真を入れて、作成していただく。B5サイズ縦置きで横書きワード形式で教会事務所、または、信徒代表にメールかUSBメモリでお願いする。

質問・ご意見は、事前に提出していただく。締め切り5月30日（金）。

細かい内容については次回の評議会を確認します。

4. バザーの準備について（バザー実行委員会）

「すべての命を笑顔にするため 希望をたずさえて」とともに祈り、はたらこう」を呼びかけとして、10月26日（日）11時15分～13時30分に開催する。目的は、①南山教会信徒の親睦を図ること、②支援を必要としている方々への資金援助の一部となるようにすること。信徒の有志

活動を軸に行う。

今後、毎月第4日曜日にバザー実行委員会を開催していく。今後、6月14日（土）まで出店希望調査を行う。

サブテーマとして「カリタスアジアを通じてわたしたちの支援が兄弟姉妹のもとへ運ばれます。」が決まりました。

毎月第4日曜日に実行委員会を開催します。第1回は4月27日に行いました。また、評議会が出店希望者の集まり具合を報告します。

各会報告

典礼委員会より

5月11日（日） マリア祭（10時ミサの前に）

5月11日（日） 14時～インターナショナルミサ（城北橋教会）

教会学校より

4月より初聖体の勉強が始まりました。お子様たちのために祈り下さい。

復活祭で女子が天使の奉仕をしました。教会学校・中高生会の保護者のご協力でイースターエッグ300個を作り、天使達が配りました。

レジオマリエより

4月26日名古屋クリアにてキリスト信者の扶助なる聖マリアプレジデイウムの年間報告を行いました。

来月6月21日平針教会にて名古屋クリア黙想会を開催いたします。講師は神言会ヤコブ・ライチャーニ神父様です。皆様のご参加をお待ちしています。

手話の会より

指導担当のリーダーが自宅療養中のため、ご自宅の一室をお借りして開催しています。10時ミサ後、各活動を終えた後に訪問し楽しく練習をしています。

次回 6月1日



フランシスコ教皇様と日本との
 かかわりとして、真っ先に思
 い出されるのは、2019年11
 月23日に来日され、東京、長
 崎、広島をご訪問されたこと
 でしょう。短い期間でしたが精
 的にスケジュールをこなされ、
 日本から世界に温かいメッセ
 ジをいくつも与えて下さいまし
 た。また、2013年10月13
 日に世界十ヶ所の聖母巡礼地を
 中継で結び、世界中の人々と一
 緒にロザリオで祈りましょう、
 と呼びかけられた時、教皇様ご
 自身がそのひとつとして、秋田
 の聖体奉仕会を指定して下った
 ことがありました。マリア様が
 シスターにメッセージを与え、
 涙を流した秋田の聖母像の前に
 して、当時の菊地司教様(現枢
 機卿様)をはじめ千人近くの信
 者の方々と一緒に徹夜で祈る機
 会を与えて下さったことも、一
 つの日本のかかわりであった
 と思います。編集部 伊藤恭輔



教皇フランシスコ 帰天
 2025年4月21日

信者の消息

受洗

おめでとうございます

神原Judith Ann

使徒ヨハネ 渡辺 弘幸 ソフィア 渡辺 啓子 マルタ 久野 恵子

ヨゼフィーナ・バキタ 田島 ゆき ジュリアーノ 古畑 佑季

マグダレナ・ソフィア・バラ 古畑 春香 マリア 古畑 香与子

アロイジオ 須田 眞彦 アッシジのフランチェスコ 吉田 英雄

MARIA TRAN THI HOA アッシジのフランシスコ HOANG MINH PHONG



転出

いつまでもお元気で

パウロ 西尾 克彦 (平針教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

トマス 岩崎 雅生 (88歳)

ヤコブ 齋藤 治彦 (82歳)

ヨゼフ 小塚 充雄 (71歳)

アーノルド・ヤンセン 小澤 勇 (87歳)

転入

ようこそ

マルガリタ・マリア 木村 裕子 (城北橋教会)

幼きイエズスのテレジア 木村 真弓 (城北橋教会)

ペトロ 木村 淳一 (城北橋教会)

トマス・モア 清水 友裕 (刈谷教会)

アーデルハイド 清水 香苗 (刈谷教会)



2025年5月・6月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
5月	聖母月	(決算書の承認) 決算書提出 11(日)マリア祭の聖母行列(9:45) (母の日)	3(土)典礼委員会 4(日)小教区宣教司牧評議会 75周年記念巡礼旅行実行委員会 9(金)マリア会例会(懇談会) 11(日)75周年記念誌編集委員会 18(日)ヨセフ会・班長会 24(土)子ども部屋 要約筆記付きミサ 25(日)バザー実行委員会	11(日)召命祈願日・城東ブロック 11(日)インターナショナル・ミサ 17(土)レジオマリエ名古屋クリア 18(日)一粒会総会 (日)わだち祭り 25(日)世界広報の日(献金)
6月	1(日)主の昇天 8(日)聖霊降臨の主日 15(日)三位一体の主日 22(日)キリストの聖体 24(火)洗者聖ヨハネの誕生 27(金)イエスのみ心 29(日)聖ペトロ・パウロ使徒	8(日)教会美化 22(日)初聖体/子どものミサ 教会学校お祝い 29(日)信者全体集会	1(日)小教区宣教司牧評議会 6(金)マリア会例会(懇談会) 7(土)典礼委員会 15(日)ヨセフ会班長会 22(日)初聖体・バザー実行委員会 28(土)子ども部屋 要約筆記付きミサ	1(日)宣教司牧評議会 13(金)松浦司教着座記念日 14(土)信徒使徒職大会 21(土)レジオマリエ黙想会 29(日)聖ペトロ聖座への献金